

2024年5月5日(日) 石倉渡船 船外機ボート with ツレ、友人  
 中潮(旧3/21) 満潮03:31(165cm) 干潮09:42(58cm) 満潮15:50(162cm) : 紀伊長島  
 キス 73尾 ピンギスから20cmまで(リリース12尾を含む)  
 うち 良型17cm~20cm 10尾

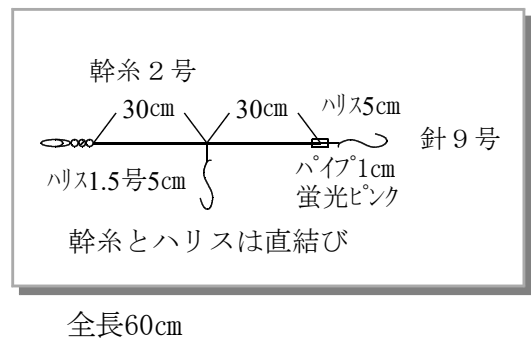
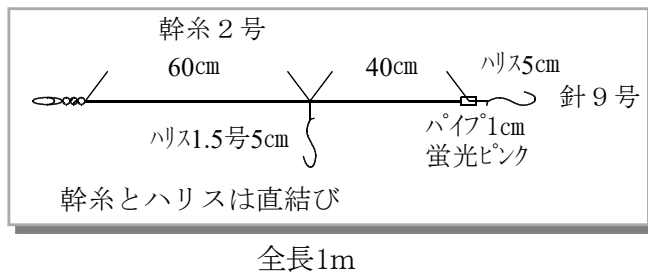
6時00分 受付  
 6時30分 出船  
 9時42分 干潮(58cm:紀伊長島)  
 10時00分 トイレ休憩  
 14時00分 納竿  
 帰宅途中、高速が渋滞した。通常より40分かかった。



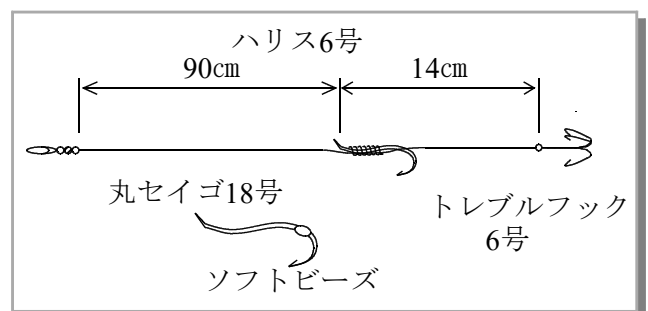
【料金】 船外機ボート ¥11,000 保険500円×3人=1,500円 合計12,500円

【エサ】 イシゴカイ 5杯(3人分) 前日に、フィッシング遊にて購入

【仕掛け】 自作仕掛け おもり12号



マゴチ狙いの飲ませ仕掛け:使用せず



【様子】

- 晴れ、後半、風が強くなった。
- 受付でよく釣れる場所を尋ねたが、これといった情報はなかった。色々探して下さいとのことだった。
- 前回よく釣れた河口前から白灯台前までを流すことにした。結局、いろいろ探りながら釣ることになった。よく釣れるところを何度も流した。

## 【振り返り】

- 全長1mの仕掛けで始めた。ツレが途中から全長60cmの仕掛けを使った。
- 結果的には、ツレの釣果は自分の2倍だった。これは釣り方の違いであり、仕掛けの違いではないように感じた。ツレは当たらないと感じたら、誘い方をいろいろ変えていたとのこと。
- 後半、風が強くなり、ボートの移動が速くなった。このとき、ツレの仕掛けは60cmで自分は1mの仕掛けだった。このときもツレの方がよく釣っていた。やっぱり釣果の違いは仕掛けの違いではないということである。
- 終了1時間前、相変わらず風は強く、ボートの移動が速い。そこで糸を出して釣るようにしてみた。これでよく釣れるようになった。



## 【次回に向けて】

### <釣り方>

- ボートの移動スピードにより釣り方を変える。

ボートの移動がちょうど良いとき、仕掛けを真下に落とす。

ボートが動かない、または、潮止まりのとき、仕掛けを投げて釣る。

ボートの移動が速すぎるとき、糸を出して釣る。(仕掛けがピンと張ったら糸を出す。)

仕掛けが海底に留まるようにすることを意識する。

※いずれにしても、数秒～十数秒ごとに誘いを掛ける。ただし、誘いすぎると釣れないときがある。

### <仕掛け>

- 2本鉤がよい。竿を2本出して1本を置き竿にするなら、3本鉤がよいかな。

しかし、自分たちは竿を2本出すということはない。

- 全長1mか60cmか迷うところである。

○ツレは60cmの仕掛けで良型も釣っている。しかし、釣れてくるのは下の鉤で上の鉤には掛からないと言っていた。

→ 投げて釣るなら60cmの仕掛けで釣る。

短い方が投げやすい。アンダースローで投げるなら60cmにすべき。

### <以前の記録>

- 船(玉や丸)の移動が速く自分たちには釣れない。そんな中、船長が置き竿で数を伸ばしていた。船長に仕掛けを尋ねた。「全長1mで、端から50cmに枝針を付ける。船が流れていくので誘いを掛ける必要はない。置き竿でよい。」とのこと。

- 案1 基本60cmの仕掛けを使う。

ボートの移動が速くなったときは、糸を出して釣るのだが、これで釣れないときは、全長1mに変える。

幹糸を40cm継ぎ足して、全長を1mにする。

- 案2 基本1mの仕掛けを使う。

乗合船で投げて釣るとき以外は1mの仕掛けを使う。

投げて釣る必要があるときは、幹糸を40cm切る。

※ボートでの釣りは案2とする。玉やでの乗合船は案1とする。

※玉やでの乗合船で、1mの仕掛けを投げてみようか…。

### 【食べる】



- キスをさばくのに二人で2時間かかった。
- 良型は塩焼きにする。他はすべて松葉おろしにした。  
2日分の刺身を取って、残りは天ぷら用である。
- 3人の友人にお裾分けをした。冷凍して残す分はなくなった。

- キスを釣った翌日に、刺身と塩焼きで食べた。  
美味しかった。



- キスを釣った2日後に、刺身と天ぷらで食べた。  
美味しかった。

※塩焼きも天ぷらも内臓のところの味が気になった。  
内臓をおおう膜を取るべきだろう。